

“みんなと暮らすマチ”を幸せにする

マチのほっとステーション の実現に向けて「3つの約束」にチャレンジ

ほっ



2015年の国連サミットで採択された「SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)」。2030年に向けて貧困や健康、教育、気候変動などの解決すべき「17のゴール(目標)」と「169のターゲット(項目)」を掲げ、“地球上の誰一人として取り残さない”ことをキーワードに、世界各国が課題解決に取り組んでいます。ローソンもマチを幸せにするという企業理念実現のため、重点課題と目標(KPI)を設定し、SDGsの推進に積極的に取り組んでいます。



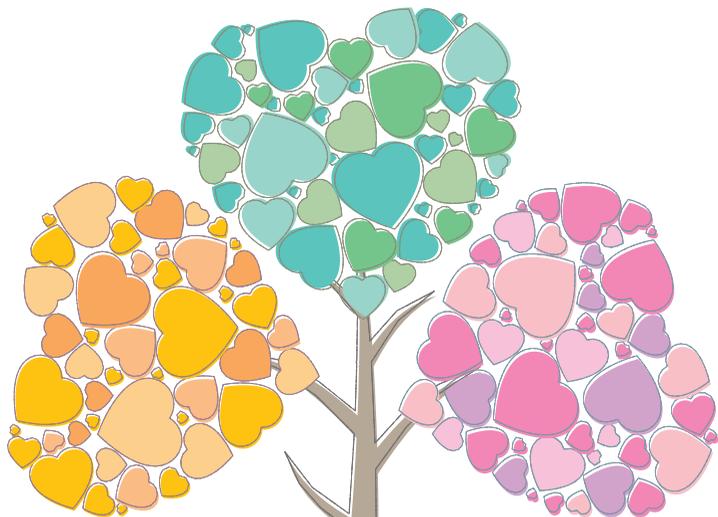
ローソンの重点課題



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

SDGsハンドブック



株式会社ローソン

事業サポート本部 環境社会共生・地域連携推進部
〒141-8643 東京都品川区大崎一丁目11番2号
ゲートシティ大崎 イーストタワー
<http://www.lawson.co.jp/>



ローソンの重点課題

- ・事業方針の「3つの約束」をもとに、社会課題・情勢などを参考に、6つに分類。
- ・小売業にとって最も重要な安全・安心、社会インフラとしての取り組みを強調し、お客さま起点で決定。

事業方針

対応する SDGsの目標

重点課題 (マテリアリティ)



安全・安心と社会・環境に配慮した
圧倒的な高付加価値商品・サービ
スの提供



商品や店舗を通じて
すべての人の健康増進を支援



働きやすく、
働きがいのある環境の提供



子どもの成長と
女性・高齢者の活躍への支援



社会インフラの提供による
地域社会との共生



脱炭素社会への持続可能な
環境保全活動



ローソンのSDGs目標(KPI) 2030

社会課題・情勢などを参考に、
社会環境面に関わる目標(KPI)を設定

●食品ロス削減

2018年対比

50% 削減

●プラスチック削減

容器包装プラスチック
2017年対比

30% 削減

（オリジナル商品の容器包装
環境配慮型素材

50% 使用

プラスチック製レジ袋

100% 削減

●CO₂排出量削減

1店舗当たりのCO₂排出量
2013年対比

30% 削減

あるべき姿 2050

●さらなる挑戦!!

LAWSON Blue Challenge 2050!

～“青い地球”を維持するために！～

ローソンは、脱炭素社会の形成とSDGsが目指す姿に貢献すべく、さらに高い目標にチャレンジします！

●食品ロス削減

100% 削減

●プラスチック削減

オリジナル商品の容器包装
環境配慮型素材

100% 使用

●CO₂排出量削減

1店舗当たりのCO₂排出量

100% 削減

私たちは2050年の“あるべき姿”に目線を置き、現在を振り返って今何をすべきかを検討・議論し、SDGs(2030年)の重点課題・目標(KPI)を確実に推進します。

私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。

これがローソングループの企業理念です。

私たちは、店舗を起点に「3つの約束」の実現にチャレンジし、お客さまからのさまざまなご要望やニーズにお応えすることで、マチに暮らす皆さんの「マチのほっとステーション」を目指しています。

圧倒的な美味しさ

安全・安心で圧倒的な高付加価値の商品を提供

安全・安心な商品を毎日、身近なお店で手にしていただけるよう、おにぎりやお弁当、ベーカリーなどのオリジナル商品の開発に力を入れています。原材料や品質、さらに製法にもこだわり、「圧倒的な美味しさ」を追求します。



地域の食材を使用した商品でマチを笑顔に

自治体や地域の高校生、地場のメーカーなどと連携して地域の食材を使った商品や食文化を活かした商品の開発と販売に積極的に取り組んでいます。



まちかど厨房の展開

店内キッチンで調理して提供する「まちかど厨房」は、全国約6,000店舗で展開。厨房で炊き上げた白米や揚げたての厚切りロースカツなど、店内キッチンだからこぞできるおいしさです。



ローソンファーム

マチの健康な食生活を支える、安全・安心で高品質な新鮮野菜や果物をローソングループの店舗に安定的に供給するため、「ローソンファーム」を全国21ヵ所(2019年5月末時点)で展開しています。



人への優しさ

ケアローソン

高齢化に対応し、シニアの方やそのご家族をサポートする店舗が「ケアローソン」です。店内に介護相談窓口やコミュニティスペースを併設。介護食や介護関連用品も品揃えています。



自治体と協働した健康づくり

自治体と協働で住民向けの健康診断や健康相談を、店舗の駐車場などを利用して実施しています。



健康に配慮した商品の開発

ローソンでは、健康志向ニーズの高まりに応えるために“おいしくて健康”を軸に、健康に配慮した商品の開発に取り組んでいます。



マネジメントオーナー(MO)制度

ローソン本部とのより強固なパートナーシップにてさらに多店舗展開を支援する仕組みが、ローソン独自の「マネジメントオーナー(MO)制度」です。多店舗経営のノウハウや、スキルを習得できる研修などを整備し、優秀な多店舗経営オーナーを育成する仕組みとなっています。



お持ちのスマートフォンやタブレットでQRコードを読み込むと、ローソンが取り組む活動の詳細情報をご覧いただけます。



1. スマートフォンやタブレットのカメラ機能または、QRコード専用読み取りアプリを起動します。
2. QRコードにカメラをかざします。



3. URLアドレスが画面に表示されます。
4. タップしてブラウザへ遷移します。

働きやすい 店舗設備の導入

新人や経験の浅いクルー*についても仕事にすぐになじめるよう、店舗でのさまざまな業務を「いつ、なにを、どのように」行えばよいかを確認できるタブレットを導入しています。また、自動釣銭機付POSレジも導入し、レジ業務の効率化を進めています。



*クルー：パート、アルバイト

移動販売サービス

店舗から距離がある高齢者施設や企業、工場などに伺い、食品や日用品などを販売する移動販売サービス。自治体などと連携し、高齢者の方に声かけする「見守りサービス」も実施しています。



“マチの幸せ”募金

「夢を応援基金(ひとり親家庭支援奨学金制度)」

(一財)全国母子寡婦福祉団体協議会を通じて、ひとり親家庭の子どもたちの「進学したい」という夢を応援する奨学金プログラムです。中学3年生から高校3年生までの400名を対象に月額3万円を給付しています。



「ローソン緑の募金」

(公社)国土緑化推進機構を通じて全国の小・中学校や特別支援学校などでの学校緑化活動と、ボランティア団体が実施する各地の森林整備活動を支援しています。ローソンのFC加盟店オーナーなどが参加した事業数は1,467事業(2019年2月末時点)になりました。



「夢の教室」募金

(公財)日本サッカー協会が運営する「JFAこころのプロジェクト「夢の教室」」を支援し、子どもたちに「夢をもつことやその夢に向かって努力することの大切さ」などを伝えています。



セーフティステーション活動

一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会の活動に積極的に参加。それぞれの店舗が、急病・けが人の救護、ストーカー対応、女性・子ども・高齢者の駆け込み対応、振り込み詐欺の防止などに努めています。



急病・ケガ人の救護

674 店

女性・子ども・高齢者の
駆け込み対応

3,663 店

ストーカーへの対応

446 店

振り込み詐欺の防止

1,857 店

出典：2018年度(平成30年度)版FC加盟店オーナー・店長向けアンケート(JFA)より、ローソン分のみ抽出

医薬品の取り扱い拡大

「ヘルスケアローソン」など、OTC医薬品(市販薬)を販売している214店舗*では、登録販売者がお客さまの相談に応じて適切な薬の提案をしています。また、うち84店舗*では調剤薬局を併設しています。通勤時や仕事帰りでも薬が買える、頼りになる店舗です。

*2019年5月末時点。医薬品の販売及び調剤薬局については、店舗によって販売時間が異なります。



栄養成分の表示

お客さまにとってわかりやすいように、オリジナル商品の栄養成分を表示しています。商品パッケージの表面にオリジナルロゴ、裏面には一目で栄養成分がわかるようにしています。



地球(マチ)への優しさ

食品ロス発生抑制とリサイクル

揚げ物に使った食用油(廃油)を、飼料用添加剤(家畜のエサの材料)やバイオディーゼル燃料などに再生。売れ残りの食品は、リサイクル工場で飼料(豚、鶏のエサ)や肥料に加工されています。2018年度は食品リサイクル等実施率が47.9%となりました。



食品ロスの削減へ実証実験を実施

食品ロス削減のため、実証実験を2019年6月から8月まで沖縄県と愛媛県で実施。消費期限の近いおにぎりやお弁当を16時以降に購入いただくと、お客さまにはポイント還元、対象商品の売上の5%を子どもたちの支援団体に寄付しました。



レジ袋の削減

ナチュラルローソンのレジ袋には、サトウキビを原料としたポリエチレンを一部使用しています。また、レジ袋削減のために、2007年3月より「コンビニecoバッグ」の普及啓発をスタート。2019年2月末時点で、配布枚数は444万枚※になりました。

※コンビニecoバッグ以外のバッグも含まれます。



容器包装のプラスチック削減

2019年より、店内淹れたてコーヒー「MACHI café」で提供する飲料容器の一部を、紙製に順次切り替えています。またアイスコーヒーなどは、ストローを使わずに飲めるよう、フタに飲み口をつけています。



物流の効率化

共同配送の推進や配送頻度の適正化を図るとともに、ハイブリッド配送車を導入するなど、燃費の向上に取り組んでいます。また、運行管理システム、ドライブレコーダーを活用しての安全運行、アイドリングストップ励行に向けたドライバー指導を行っています。



被災地の支援

大規模な災害の発生時にはマチのライフラインとして、迅速に災害対策本部を立ち上げ、店舗や製造工場、配送センターなどへの支援を実施し、店舗の営業継続を目指します。また、自治体と連携して避難所へ食料や日用品などの緊急支援物資もお届けします。



省エネ機器の導入

2010年より、フロン類を使用せずに省エネルギー効果が高い「ノンフロン(CO₂冷媒)・冷凍・冷蔵システム」の設置をスタート。2019年2月末時点で、約3,400店舗に導入しました。



省エネ10か条

店舗に設置されている要冷機器や空調機器の運用効率を向上させ、店舗全体のムダな電気使用量を削減するため、「省エネ10か条」を定めています。



会社概要

社名	株式会社ローソン
所在地	東京都品川区大崎一丁目11番2号 ゲートシティ大崎 イーストタワー
代表者	代表取締役 社長 竹増貞信
設立	1975年4月15日
資本金	585億664万4千円
社員数	10,395人(連結)
事業内容	コンビニエンスストア「ローソン」「ナチュラルローソン」及び「ローソンストア100」のフランチャイズチェーン展開など
全店舗売上高	2兆4,245億円(連結)
総店舗数	17,015店
出店エリア	国内47都道府県・中国(上海市・重慶市・大連市・北京市・武漢市・合肥市)・インドネシア・米国ハワイ州・タイ・フィリピン

注1: 全店舗売上高(連結)は、国内コンビニエンスストア事業、海外事業及び成城石井の店舗売上高の合計です(連結対象のみ)。なお、成城石井事業については直営の成城石井店舗のみを集計しています。

注2: 総店舗数は、株式会社ローソンが運営するローソン、ナチュラルローソン、ローソンストア100、株式会社ローソン山陰、株式会社ローソン沖縄、株式会社ローソン南九州、株式会社ローソン高知が運営するローソン、株式会社成城石井の運営する直営の成城石井、海外の各地域の運営会社によるローソンブランド店舗数の合併です。

2019年2月末時点/連結